



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 前田 一彦
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 矢儀 信之 TEL 03-3259-7062
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	39,010	4.5	2,845	△21.7	3,837	△32.3	2,831	△54.6
2023年3月期第1四半期	37,331	△26.2	3,635	90.8	5,667	139.5	6,229	351.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,244百万円 (△33.3%) 2023年3月期第1四半期 6,361百万円 (77.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	114.25	—
2023年3月期第1四半期	154.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	219,799	109,972	48.0
2023年3月期	221,090	107,861	46.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 105,538百万円 2023年3月期 103,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	37.50	—	77.50	115.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	57.50	—	57.50	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	83,500	6.7	4,500	△39.4	5,000	△52.9	4,000	△76.3	161.42
通期	182,500	7.8	14,000	△16.5	16,000	△18.5	14,000	△67.1	564.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）セントラル硝子プロダクツ株式会社、 除外 —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2024年3月期1Q	26,000,000株	2023年3月期	42,975,995株
2024年3月期1Q	1,219,872株	2023年3月期	18,195,767株
2024年3月期1Q	24,780,225株	2023年3月期1Q	40,381,727株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原燃材料価格の高止まりや、消費者物価の上昇が続くなど、先行きは不透明な状況ではあるものの、雇用環境の改善、個人消費や設備投資の持ち直しなど、景気は緩やかに回復しました。

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化の影響、欧米各国の金融引き締めによる景気減速の懸念、中国の不動産市場の低迷などによる景気回復ペースの鈍化など、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は39,010百万円と、前年同期比4.5%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比1,830百万円減少の3,837百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は政策保有株式の売却益を計上していることから、前年同期比3,398百万円減少の2,831百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、建築需要は前年を若干下回る状況で推移しましたが、前年に実施しました製品価格改定の浸透により、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、前年同期は上海のロックダウンや半導体の不足などによる部品供給の問題で各自動車メーカーの生産調整の影響を受けておりましたが、当期は自動車生産台数の回復、及び原燃材料価格の高騰に対応し、製品価格改定を実施してきましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野における生産台数の回復により、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は13,905百万円（前年同期比18.2%増）となり、損益につきましては326百万円の営業利益（前年同期比38百万円の減少）となりました。

(化成品事業)

素材化学品につきましては、ハイドロフルオロオレフィン製品が、米国の景気減速から発泡剤原料の販売が落ち込んだことに加え、農薬関連製品が前年度末の前倒し出荷の反動により販売が減少し、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

医療化学品につきましては、医薬関連製品の出荷は好調に推移しましたが、在外連結子会社の売上が低調に推移したため、売上高は前年同期を下回りました。

電子材料につきましては、半導体の世界的な需要低迷によるメモリー大手の減産などが影響し、半導体向け特殊ガス製品の販売が減少したことにより、前年同期を下回りました。

エネルギー材料につきましては、リチウムイオン電池用電解液製品の販売が好調に推移し、売上高は前期を上回りました。

肥料につきましては、6月からの製品価格値下げを見込んだ4、5月の買控えのため、売上高は前年同期を下回りました。

以上、化成品事業の売上高は25,104百万円（前年同期比1.8%減）となり、損益につきましては2,518百万円の営業利益（前年同期比751百万円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、棚卸資産が2,535百万円、株価の上昇などで投資有価証券が1,157百万円それぞれ増加する一方、受取手形、売掛金及び契約資産が4,297百万円減少したことなどにより、1,291百万円減少し219,799百万円となりました。

負債は仕入債務が2,954百万円減少したことなどにより、3,401百万円減少し109,826百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定が804百万円、その他有価証券評価差額金が520百万円それぞれ増加したことなどにより、2,110百万円増加し109,972百万円となりました。また、自己資本比率は1.2%増加し48.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績を踏まえ、第2四半期の業績予想を見直しました結果、第2四半期連結累計期間の業績予想は年初の計画から大幅な乖離がないため、2023年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。この連結業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,844	18,503
受取手形、売掛金及び契約資産	42,978	38,680
商品及び製品	27,977	30,102
仕掛品	2,495	2,559
原材料及び貯蔵品	19,314	19,659
その他	4,608	3,725
貸倒引当金	△116	△119
流動資産合計	115,101	113,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,185	20,152
機械装置及び運搬具（純額）	23,056	22,727
土地	20,693	20,704
建設仮勘定	2,195	2,041
その他（純額）	3,768	3,895
有形固定資産合計	69,898	69,521
無形固定資産		
その他	980	961
無形固定資産合計	980	961
投資その他の資産		
投資有価証券	23,696	24,853
その他	11,546	11,463
貸倒引当金	△133	△113
投資その他の資産合計	35,109	36,204
固定資産合計	105,989	106,687
資産合計	221,090	219,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,681	18,727
短期借入金	10,759	10,206
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	814	800
契約負債	916	820
賞与引当金	1,242	406
事業構造改善引当金	445	158
その他	15,213	18,403
流動負債合計	61,073	59,523
固定負債		
社債	18,000	18,000
長期借入金	26,334	24,431
特別修繕引当金	1,676	1,767
退職給付に係る負債	5,571	5,553
その他	572	550
固定負債合計	52,155	50,303
負債合計	113,228	109,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	127,977	72,089
自己株式	△60,781	△4,006
株主資本合計	93,474	94,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,832	6,352
繰延ヘッジ損益	34	△100
為替換算調整勘定	3,609	4,414
退職給付に係る調整累計額	532	511
その他の包括利益累計額合計	10,008	11,177
非支配株主持分	4,378	4,433
純資産合計	107,861	109,972
負債純資産合計	221,090	219,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	37,331	39,010
売上原価	27,365	29,428
売上総利益	9,966	9,582
販売費及び一般管理費	6,330	6,736
営業利益	3,635	2,845
営業外収益		
受取利息	138	29
受取配当金	403	259
持分法による投資利益	362	257
為替差益	875	431
その他	653	506
営業外収益合計	2,432	1,484
営業外費用		
支払利息	63	91
租税公課	—	237
その他	337	164
営業外費用合計	400	493
経常利益	5,667	3,837
特別利益		
固定資産売却益	566	—
投資有価証券売却益	1,072	—
特別利益合計	1,639	—
特別損失		
固定資産売却損	10	—
事業構造改善費用	268	—
特別損失合計	279	—
税金等調整前四半期純利益	7,027	3,837
法人税等	507	789
四半期純利益	6,520	3,048
非支配株主に帰属する四半期純利益	290	217
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,229	2,831

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	6,520	3,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,889	520
繰延ヘッジ損益	30	△127
為替換算調整勘定	1,336	660
退職給付に係る調整額	△41	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	404	164
その他の包括利益合計	△159	1,196
四半期包括利益	6,361	4,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,906	4,007
非支配株主に係る四半期包括利益	454	237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2023年5月26日に自己株式16,975,995株の消却を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金および自己株式がそれぞれ56,774百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

1 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,765	25,566	37,331	—	37,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	222	222	△222	—
計	11,765	25,788	37,554	△222	37,331
セグメント利益(営業利益)	365	3,270	3,635	—	3,635

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,905	25,104	39,010	—	39,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	292	292	△292	—
計	13,905	25,397	39,303	△292	39,010
セグメント利益(営業利益)	326	2,518	2,845	—	2,845

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。